「イズミルで日本の桜風」イズミル日本文化週間開催報告
（２０１５年月２月２１日～３月１日）
（於：ドクズ・エイリュル大学生涯教育センター、ギュゼルバフチェ文化センター）

昨年に引き続き２回目となる、「イズミルで日本の桜風」行事として、箏コンサート、セミナー、日本映画祭、日本語弁論大会、古武道・剣道デモンストレーション、絵画展示など、幅広い分野における複合型日本文化紹介イベントが開催され、延べ１３００名の皆様にご参加いただきました。

日本映画祭では、今年秋の公開を目指して現在制作中の日土合同映画「海難1890」の監督である田中光敏監督氏の代表作「利休にたずねよ」と「サクラサク」を含む日本映画４作が上映され好評を博しました。

また、今年２回目を迎える日本語弁論大会「私の目から見た日本Ⅱ」のブログ部門では、子どもから大人まで１０名が独自の視点から日本についてのプレゼンテーションを行い、弁論部門では、昨年にも増して高い日本語能力を持つ弁士たち１０名が各々興味深い内容で弁論を行いました。

最年少のブログ参加者

集合写真

弁論大会後に行われた、剣道・古武道デモンストレーションでは、トルコ人による剣道披露のあと、日本より浅山一伝流体術武徳会の坂井英二会長、太田重明副会長、大槻明史門下生をお迎えし、４００年以上前より伝承されてきた数々の秘技を披露していただきました。

剣道デモンストレーション

古武道デモンストレーション

これら行事の他、トルコ邦楽協会による箏コンサート、日本のパティシエによる「日本の西洋菓子」講習会、ドクズ・エイリュル大学芸術学部グラフィック学科の先生方による絵画展示会及びセミナー、JIKADによる「日本語学習者のための日本文化史」（松井嘉一・大阪国際大学教授著）のトルコ語翻訳出版記念会など、様々な行事が開催され、イズミル市民に様々な角度から日本文化を紹介する機会となりました。

絵画展示会

「海難1890」映画紹介カクテル

セミナーの様子